

統合イノベーション戦略推進会議について

平成30年7月

調整・推進体制

- 統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）に基づき、イノベーション関連の司令塔機能の強化を図る観点から、横断的かつ実質的な調整機能を構築。
- 各種会議を有効に機能させ、政策を統合して「全体最適化」を図り、一丸となって、迅速かつ確実に実行。

CSTI

IT本部

知財本部

健康・医療
本部

宇宙本部

海洋本部

統合イノベーション戦略推進会議

議長：官房長官

議長代理：科技大臣 副議長：関係本部担当大臣

有識者会議

個別テーマの専門調査
(AI等)

提言

強化推進チーム

チーム長：総理大臣補佐官

構成員：各司令塔会議事務局・各省庁局長・審議官級

※AI等個別テーマごとにTFを設置

事務局（イノベーション推進室）

室長：和泉補佐官

室長代理：副長官補、内閣府審議官 室員：関係本部幹部

推進会議で調整・推進が必要な事項

- 統合イノベーション戦略に盛り込まれた事項のうち、特にイノベーション関連の司令塔間で調整の必要がある事項について、点検・整理等を行い、横断的かつ実質的な調整・推進を実施。

戦略上のテーマ	特に調整・推進が必要な当面の事項の例
<知の源泉> <ul style="list-style-type: none">➤ データ基盤（3分野）<ul style="list-style-type: none">・ 社会データ・ 学術データ・ 公的データ	<3分野を通じたデータ収集・連携> <ul style="list-style-type: none">➤ 全体構造（グランドデザイン）の提示（全体連結等）➤ 相互運用性確保・標準化（AI解析可能、欧米等と直結等）➤ 関係ルールの整備<ul style="list-style-type: none">・ 知的財産戦略（オープン・アンド・クローズ戦略等）・ 個人情報保護、円滑な越境移転 等➤ データ提供インセンティブの仕組みの構築
<知の創造> <ul style="list-style-type: none">➤ 戦略的研究開発➤ 大学改革	<戦略的研究開発> <ul style="list-style-type: none">➤ 研究開発マネジメント改革<ul style="list-style-type: none">・ 資源（ヒト・モノ・カネ等）を適切に分配し有効活用するシステムの構築・ 外国企業との共同研究等に係るガイドラインの策定・ 資金配分機関の役割分担の明確化・連携の強化 等➤ 非連続的なイノベーションを生み出す研究開発の継続的・安定的推進

推進会議で調整・推進が必要な事項

戦略上のテーマ	特に調整・推進が必要な当面の事項の例
<知の社会実装> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 創業 ➤ 政府事業・制度等のイノベーション化 	<横断的な社会実装> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Society 5.0実現に向けた社会実装（自動走行、健康・医療・介護等） <創業> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本型ベンチャー・エコシステムの構築（対等な協業・連携、人材流動化等）
<知の国際展開> <ul style="list-style-type: none"> ➤ STI for SDGs 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ロードマップの策定 ➤ プラットフォームの構築（我が国の技術シーズ等と国内外のニーズのマッチング）
<強化すべき主要分野> <ul style="list-style-type: none"> ➤ AI技術 ➤ バイオテクノロジー ➤ 安全・安心 ➤ 環境エネルギー ➤ 農業 等 	<AI技術> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 桁違いな規模での人材育成方策の策定・評価・見直し（産学官一体） ➤ 取り組むべき技術開発等の明確化 <バイオテクノロジー> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療・非医療が一体となった新たなバイオ戦略の策定 <安全・安心> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「知る」「育てる」「守る」「生かす」の取組の推進（国及び国民の安全・安心の確保）

<他の戦略に盛り込まれた横断的な関連事項の例>

- フラッグシップ・プロジェクトの推進（Society 5.0実現関連）
- 大胆な規制・制度改革（サンドボックス制度の活用、ルール整備、国家戦略特区の推進等）
- 知的財産・標準化戦略